



日本共産党中央区議会議員

奥村あきこ レポート



奥村あきこ事務所 佃2-22-6-C309
区議団控室 電話 3546-5575
中央地区委員会 電話 3551-6820

予算修正案を提出

“東京湾華火祭”の9億円は 福祉や教育に活用を

中央区の新年度予算に反対

区議会第一回定例会で、2026年度予算が賛成多数で可決されました。

日本共産党区議団は、区予算案の問題点を指摘し、反対しました。

反対の理由（抜粋）

▼新年度予算のテーマ

は「住み続けられるまちを目指して」となっていますが、マンション価格の高騰などで住み続けられない事態が進む中、公営住宅の拡充や借り上げ住宅、セーフティーネット住宅の拡大、家賃補助制度の実施などが必要。

▼築地市場跡地開発、

日本橋周辺5地区の再開発、東京駅八重洲口など、大型開発が目白押し。CO2

日本共産党区議団の「予算修正案」

日本共産党区議団は、予算特別委員会で2026年度の一般会計予算を43万3千円増額する修正案を提出しました。

残念ながら「修正案」は否決されてしまいましたが、これからも粘り強く提案していきます。

《歳入予算の修正内容》

情報公開の閲覧・視聴手数料を廃止--- $\Delta 43$ 万円

《歳出予算の修正内容》

議長交際費を50%削減----- $\Delta 50$ 万円

議員の費用弁償（交通費）の廃止----- $\Delta 403$ 万円

区長交際費を50%削減----- $\Delta 200$ 万円

東京湾華火祭の中止----- $\Delta 8$ 億6,055万円

生活保護世帯への歳末・夏期見舞金復活--- 1,300万円

住民税非課税世帯へ1世帯1万円の物価高騰対策支援金を給付----- 1億5,000万円

出産支援タクシー券を3万円に戻す----- 3,600万円

桜川公園のパークPFIによる整備の中止--- $\Delta 1,066$ 万円

区営、区立（ひとり親、高齢者）住宅募集に落選した住宅困窮世帯への家賃補助--- 5,000万円

小中学校の教材費等の無償化----- 2億4,000万円

学習力サポートテストの中止----- $\Delta 1,873$ 万円

大学、短大、高等専門学校などの学生への給付型奨学金----- 5,000万円

まちづくり支援基金に積み立てる----- 3億5,705万円

排出量が増え、環境破壊も深刻。

▼23区中14区が制定し、賃金の引き上げにも効果のある「公契約

条例」を早期に制定すべき。

▼義務教育は無償の立場に立って

教材費などの無償化も実施するよう求めます。

▼高すぎる国民健康保険料や後期

高齢者医療保険料のさらなる値上げは問題

予算修正案のポイント

◆東京湾大華火祭に約8億を支出するより、家賃補助制度や給付型奨学金の創設、物価高騰対策給付金などに活用すべき（左表参照）。

区議団ホームページ



築地市場跡地の浴恩園の発掘調査と 保存・活用計画の策定に関する請願

入船湯存続を求める請願



築地市場跡地で行なわれている埋蔵文化財調査

2件とも委員会で「不採択」

—日本共産党区議団は「採択」を主張—

どちらの請願も日本共産党区議団が紹介議員となり、議会に提出されたものです。

築地浴恩園

4月17日に開かれた築地等都市基盤対策特別委員会で、「築地市場跡地の浴恩園遺跡の本格的な発掘調査と視察および保存・活用計画の策定と実施に関する請願」の採決が行われました。

この請願は、3月25日に受理され、この委員会に付託されたばかりのものです。

…請願の内容…

松平定信が江戸時代に造った「浴恩園」の跡地（遺跡）を確実に把握し保護するため、「深さ4m」程度の本格的な発掘調査を実施すること

▼遺跡を国指定史跡また東京都指定史跡として再登録・再指定しなすこと

▼自然文化遺産として位置付けて保護すること

などを、東京都他関係機関に区議会として働きかけることを求めるものです。

請願は通常、「継続審査」

として審査する時間が定期的に間持たれることがほとんどですが、この委員会では、自民党の委員から「ただちに採決することを求める」と発言があり、中央区議会では異例の「即日採決」となりました。日本共産党区議団は、請願を採択することに賛成しましたが、委員の内、会派・かが

やきの委員が退席（態度保留）、自民・公明・みらい・参政の委員4名が反対し、「請願不採択」という残念な結果となりました。

入船湯存続

4月14日に開かれた区民文教委員会「入船湯の存続を求める請願」の採決が行われました。

…請願の内容…

コミュニティの場としても大切な役割を持っている銭湯をぜひ別の場所でもいいので、公設の浴場として存続させていくこと、銭湯の存続策にとどまらず、銭湯を増やしていく施策に取り組んでほしいというものです。

日本共産党区議団は、採択に賛成する意見を述べましたが、賛成少数（日本共産党の委員のみ）で、請願は「不採択」となりました。



昨年3月に廃止された入船湯

この請願は、1161名の署名を添えて、2024年6月に提出されたものです。昨年3月をもって入船湯は廃止となり、今は別の用途での工事が進められていますが、日本共産党区議団は、区有地や民間開発なども視野に公衆浴場整備地を求めています。

請願「築地浴恩園」は5月29日の本会議で採決され、正式に「不採択」となりました。請願「入船湯存続」は6月の本会議で、議員全員で「採択」「不採択」が諮られることとなります。